

1. 科目名 (単位数)	福祉行財政と福祉計画 (2単位)	3. 科目番号	SSMP3103 SBMP3103 PSMP3403
2. 授業担当教員	吉岡 英雄		
4. 授業形態	講義、グループ討議等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	社会福祉原論等の関連科目の履修が望ましい。		
7. 講義概要	<p>市場の失敗が問われている現在、これからは福祉分野においても、行政の役割が市場機能より重要になると考えられる。こうした問題意識から本講義は福祉と関連し、パブリック（行政）が行っている事について以下の点を中心に学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の行財政の実施体制（国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。）について理解する。</li> <li>福祉行財政の実際について理解する。</li> <li>福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。</li> </ul>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>福祉分野において市場の失敗と行政の機能の変化について理解し、説明することができる。</li> <li>福祉サービスの担い手として行政組織の役割について学習し、理解を深める。</li> <li>福祉予算と福祉サービスの関係について学び、説明できるようになる。</li> <li>福祉計画の理論と技法について、また、福祉計画がなぜ重要になってきたのかについて学び、説明できるようになる。</li> <li>福祉行政の過程すなわち、plan→do→see→feed backについて学び、理解を深める。</li> <li>福祉計画の策定するとき、なぜ住民参加が重要なのかについて理解し、説明することができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	小テスト・レポートを実施する。 レポート課題は授業内にて提示する。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『福祉行財政と福祉計画』中央法規。</p> <p>【参考書】 坂田周一『社会福祉計画』有斐閣。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>社会福祉構造改革以後、変わった福祉行政のやり方について理解できたか</li> <li>福祉財政についてその内容と課題について理解できたか</li> <li>地域福祉と福祉計画地に関連し、それぞれの福祉計画について理解できたか</li> <li>発表や討議を通して発表力の向上ができたか</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>授業への積極的な参加度（討議や発表など）：40%</li> <li>課題レポート及び予習ノート：30%</li> <li>総括テスト：30%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>社会保障・社会福祉の制度、法律、財政、現状や課題などについて、自主的に学ぶこと。また、日頃から主体的に資料やニュース、参考文献、各省庁のインターネット情報などに目を通しておくこと。 （特に社会保障・社会福祉制度の法律・制度の矛盾・現状・動向について、日頃から関心を持って資料収集すること。）</p> <p>履修にあたっては次の事を最低限守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>指定の教科書は授業の際、必ず購入して持参すること。</li> <li>別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。</li> <li>授業中の私語や携帯電話の使用は禁止とする。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	オフィスアワーは講義時間の前後で受け付けます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 社会福祉の法体系	事前学習	学習用ノートを準備し、シラバス・教科書に目を通し、講義に臨むこと。
		事後学習	行政と民間の相違点についてまとめる。
第2回	福祉行政の実施体制① 社会福祉の概念	事前学習	pp.2～10を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	社会福祉の概念の変遷についてまとめる。
第3回	福祉行政の実施体制② 社会福祉における市場と行政	事前学習	pp.11～23を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	社会福祉における市場と行政の機能変化についてまとめる。
第4回	福祉行政の実施体制③ 福祉行政と福祉計画	事前学習	pp.24～31を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	福祉行政と福祉計画についてまとめる。
第5回	福祉行政の実施体制④ 社会福祉関連法令	事前学習	pp.34～43を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	社会福祉関連法令の専門用語をまとめる。
第6回	福祉行政の実施体制⑤ 厚生労働省の機能	事前学習	pp.44～51を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	厚生労働省の機能についてまとめる。
第7回	福祉計画の役割と考え① 福祉サービス	事前学習	pp.54～60を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	福祉サービスの利用方式についてまとめる。

第8回	福祉計画の役割と考え② 社会保障給付費の動向	事前学習	pp.62～68を熟読し、要点をまとめる。
		事後学習	日本の社会保障給付費の動向の特徴についてまとめる。
第9回	福祉計画の役割と考え③ 民生費の動向	事前学習	pp.69～75を参考に自分が住んでいる地方自治体の民生費を調べてまとめる。
		事後学習	日本の民生費の動向の特徴についてまとめる。
第10回	グループワーク ①「私たちが描く地域福祉計画」 (メンバーの役割分担、資料の確認と不足する資料の検討)	事前学習	地域福祉計画の意義を再度理解しておくこと。
		事後学習	グループのメンバーの役割と計画策定の柱立てを決める。
第11回	グループワーク ②「私たちが描く地域福祉計画」 (資料の読み込みと討論、柱立てを決める)	事前学習	基礎的データの収集とメンバーの共有化を図る。
		事後学習	柱立ての検討をしておくこと。
第12回	グループワーク ③「私たちが描く地域福祉計画」 (柱立てに沿った福祉サービス内容を検討)	事前学習	必要な福祉サービスは何か事前に調べておく。
		事後学習	柱立てとの関連を精査する。
第13回	グループワーク ④「私たちが描く地域福祉計画」 (B紙への書き込み作業)	事前学習	B紙に書き出す素案を準備する。
		事後学習	発表に向けた内容を検討する。
第14回	グループワーク ⑤「私たちが描く地域福祉計画」 (まとめ作業)	事前学習	発表の役割分担を検討する。
		事後学習	発表に向けた最終確認をする。
第15回	発表会 「わが市町村の地域福祉計画について」	事前学習	グループの意思統一を確認しておく。
		事後学習	発表について相互評価を行う。